

めざす子ども像

- ・ ふるさとを愛し、誇りとする子ども
- ・ 思いを伝え合い、人とのつながりを大事にする子ども
- ・ よく考え、よく学び進んで実行する子ども
- ・ 人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標 地域・家庭・学校が一つとなって、めざす子ども像に向かって地域教育に取り組み、田原を愛する人間を育成する。

【今年度の取組紹介】

《小中一貫教育小規模校全国サミットの開催、準備、他校との交流》

小中一貫教育小規模校全国サミットの開催に向けて、話し合いを重ね準備を行ってきました。午後の分科会に参加し、他校との交流を行いました。地域教育の重要性を改めて感じました。



《文化鑑賞会の開催 地域、全校児童生徒、先生方とともに》

ジャックリー ランダル氏の影絵パフォーマンスは、体験もあり、子どもからお年寄りまで、地域が一体となって楽しめるものでした。

《案内道路標示づくり》

昨年度、来校者が困っているという現状があることを伺い、子どもボランティアを募り、道路に案内標示を描く活動を実施しましたが、線や文字が薄くなってきていたため、改めて塗り直しました。

また、職員室への案内誘導ラインがあれば、「ライン以外のところを歩く人」＝「不審者」と判断できるのでラインを引きたい！という学校からの願いがあり、防犯対策になるため、新たに誘導ラインを引くことにしました。

《学び舎プロジェクト》

- ・ 地域の力で放課後に英語教室を開催しました。
- ・ 田原を愛する講師による英語学習補助支援を行いました。

【今年度のまとめ】

- ・ 前年度同様、学校と協力し、自然体験を含む様々な体験学習を実施することができたように思います。
- ・ 小中一貫教育小規模校全国サミットの開催は、良い経験になりました。校長先生をはじめ、たくさんの先生方、小中一貫教育小規模校全国サミットの開催に向けてご苦労様でした。活動にご協力ありがとうございました。

【来年度に向けて】

- ・ 学校が進める「小中9年間を見通したキャリア教育」と連動させながら、次年度も「学校のために」「地域のために」と、さらに活動や教育を高めていきたいと思っています。

めざす子ども像

- ・ ふるさとを愛し、誇りとする子ども
- ・ 思いを伝え合い、人とのつながりを大事にする子ども
- ・ よく考え、よく学び進んで実行する子ども
- ・ 人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標 地域・家庭・学校が一つとなって、めざす子ども像に向かって地域教育に取り組み、田原を愛する人間を育成する。

【今年度の取組紹介】

(人権講演会の開催)

- ・ 田崎智咲斗さんをお招きし、性と生についての対話型講演会を行い、みんなが自分らしく暮らす社会のために、一人一人ができることについて考える機会になりました。講演開催までに、田崎さんと打合せを行い、講演会までに、各学年で学習を行ってもらいました。中学校運営委員会発信の開催でしたが、小学部の先生方とも協力し、講演会のなかで、自分の考えがもてるようにするために、1～6年生でも事前に学習をしてもらいました。



(紙漉き体験 7～9年生とともに)

- ・ 地域の福祉施設「日笠ワークス（社会法人 青葉仁会）」の活動事業の一つである紙漉き。日笠ワークスの川口強志さんの指導による紙漉き体験学習を行いました。地域学習の一環として、施設の概要説明を受けた後、はがきサイズの和紙の紙漉きが行われました。漉いた紙は、美術科で作品づくりに使用されました。

【今年度のまとめ】

- ・ 前年度同様、学校と協力し、自然体験を含む様々な体験学習を実施することができたように思います。
- ・ 小中一貫教育小規模校全国サミットの開催は、良い経験になりました。校長先生をはじめ、たくさんの先生方、小中一貫教育小規模校全国サミットの開催に向けてご苦労様でした。活動にご協力ありがとうございました。

【来年度に向けて】

- ・ 学校が進める「小中9年間を見通したキャリア教育」と連動させながら、次年度も「学校のために」「地域のために」と、さらに活動や教育を高めていきたいと思っています。

めざす子ども像

- ・ ふるさとを愛し、誇りとする子ども
- ・ 思いを伝え合い、人とのつながりを大事にする子ども
- ・ よく考え、よく学び進んで実行する子ども
- ・ 人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標 地域・家庭・学校が一つとなって、めざす子ども像に向かって地域教育に取り組み、田原を愛する人間を育成する。

【今年度の取組紹介】

(花植え集会① 1～4年生とともに)

- ・ 環境整備ボランティアと1～4年生による春の学校園の整備、花植えをしました。4年生による集会運営の学習も見ることができました。

(花植え集会② 1・2年生とともに)

- ・ 環境整備ボランティアと1～4年生による秋の学校園の整備、花植えをしました。

(木工工作体験 1・2年生とともに)

- ・ 校区在住芸術家による木のおもちゃ（パズル）づくり教室を開催しました。

(田植えと稲刈りの体験 4・5年生とともに)

- ・ 地域教育協議会委員である奥和田さんの田をお借りして実施されました。足の指を通る泥の感覚を感じながら、カエルの鳴き声を、風を感じながらの田植え体験でした。ザッザッという音とともに軽快に鎌を動かして稲を刈る体験をすることができました。

(車椅子バスケットボールとは？ 障害とは？ 1～6年生とともに)

- ・ 92年、96年、00年、04年と4期連続パラリンピック代表であった神保康広さんに来校いただき、車椅子バスケットボールとは？ 障害とは？ということについて、体験を交えてお話を伺いました。

(地域探検&環境クリーン作戦 6年生とともに)

- ・ 「地域を歩きながら、地域について知ること」「ごみ拾い」をしました。地域を知り、地域に関わることで、地域を愛する子どもたちになるのではないかと思います。

(世界遺産学習 5年生・京都大原小中学校の5年生とともに)

- ・ 京都大原小中学校の5年生と一緒に、国立博物館や春日原生林を巡りました。

(学び舎プロジェクト)

- ・ 放課後英語教室を開催しました。田原を愛する講師による英語学習補助支援が行われました。



【今年度のまとめ】

- ・ 前年度同様、学校と協力し自然体験を含む様々な体験学習を実施することができたように思います。
- ・ 小中一貫教育小規模校全国サミットの開催は、良い経験になりました。校長先生をはじめ、たくさんの先生方、小中一貫教育小規模校全国サミットの開催に向けてご苦勞様でした。活動にご協力ありがとうございました。

【来年度に向けて】

- ・ 学校が進める「小中9年間を見通したキャリア教育」と連動させながら、次年度も「学校のために」「地域のために」と、さらに活動や教育力を高めていきたいと思っています。